

教育センターだより

育てたい

「おせっかいでありながら寛容な子ども」

南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一

昔から、子どもを諭す言葉としてよく用いられる言葉に、「自分がされて嫌なことは、人にするな！」がある。今自宅にいる3人の孫に対しても、この言葉をよく使っている毎日である。

この言葉を裏返して考えると、「自分が人からしてほしいことは、人にやれ」ということになる。しかし、自分がしてほしいことだと思ってやってみても、相手から拒否されることが、しばしばある。一番わかりやすいのは、愛の告白だろう。自分が付き合っほしいと思うから告白をするのだが、相手にその気がなければ、当然断られるのである。

よかれと思って行動したのに断られて嫌な思いをするくらいなら、何もしない方がいい…と考えてしまうのも当然だろう。アクションを起こさなければ、嫌な思いをしなくて済むのだから。

しかし、他とのかかわりをもとうとしない子どもばかりが育つとしたら…それでよいのだろうかということである。周りとの積極的なかかわりを好まない人がどんどん増えたとき、社会は無味乾燥な自分本位の世界になってしまうのではないだろうか。『一流の田舎』を目指す南砺の人づくりで目指す姿は、決してそうではない。

ここで、考えてみたいことは、相手にとって受け入れられない“おせっかい”をして断られたとき、相手はこちらのすべてを拒絶したのだろうかということである。たしかに“おせっかい”そのものは断られたかもしれないが、『あなたのことを考えてよいと思ったから、その言動をした』という優しい気持ちは、伝わっているのではないだろうか。そこまで深掘りして考えることが必要なのである。

では、こう言ったコミュニケーションが成立するための支援の鍵は何だろうか。

一つには、うまくおせっかいが受け入れられなかった時に、残念な気持ちでいる子どもに、『あなたとは、考えが違っているようだね。でも、あなたの優しい気持ちは伝わったよ』と、その価値を伝えることが欠かせない。

もう一つは、おせっかいをされたものの断った子どもに、『相手は、あなたにとってよいと思ったからアクションを起こしたんだよ』と、おせっかいの内容ではなく、その行為をしてくれた仲間の気持ちに思いを寄せるように促すことである。そして、単に断るのではなく、『ありがとう、でも・・・』と、相手の気持ちに感謝の言葉を添えて対応できる子どもを育てることにある。

『未来を切り拓く南砺の人づくり』には、主体性の育成とともに、社会性の面として、「おせっかいでありながら寛容な子ども」の育成が欠かせないと思う。



●市教育センター研修会

※ 各研修会の詳細についてはHPでご覧ください。

授業力向上研修会(ステップアップ研修)

- 実施日
 - ① 6月27日(木) 福野小
 - ② 7月 3日(水) 城端中
 - ③ 7月12日(金) 井波小
 - ④10月23日(水) 城端小
 - ⑤11月 8日(金) 福野小
 - ⑥12月11日(水) 吉江中
 - ⑦ 1月24日(金) 福野小
- 講師 南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 参加者 7～9年次の先生、各校教務主任又は研究主任、当該学校の教職員、砺波市・小矢部市の教員、希望者 他 のべ191名
- 内容
 - ・事前・事後研修会と公開授業を通して、授業力向上を目指す
 - ・充実した事後研修の進め方について学ぶ



<参加者の感想より>

小学校教員が中学校の授業を参観した感想

- ・小学校と中学校では子供たちの反応は大きく違うと感じた。リラックスしてグループ活動に臨む姿を見て、小学校の内からグループ活動に抵抗の無い子供たちを育てることが大切だと思った。

中学校教員が小学校の授業を参観した感想

- ・図画工作、国語、学活と教科等横断的にキーワードを意識したカリキュラムマネジメントに小学校のよさを感じました。中学校でも教科間の連携が図れる部分があるはずなので、つながりを意識して生徒たちを育てていきたいと思いました。

授業者の感想

- ・指導案検討の段階からご指導いただき、ありがたかった。共有したコメントをもとに授業を展開していきましたが、「本当にそれが子どもの今考えていることか」「思考の流れに沿った展開なのか」というご意見が特に印象に残りました。子どもが思考する授業ができるよう、今後も研修に励みます。
- ・これまで積み上げてきてよかったと思える日でした。自分のやりたいことをやらせてもらえて感謝しています。今回の授業や事後研での皆様のご意見から、教師が出ることによって話が深まり、教師が出ることも悪いことではないのだと感じました。これからさらに、子どもの思いを引き出せるような切り返しや問い返しについて考えていきたいです。

他市の先生からの感想

- ・学級全体の話し合い場面における教師の立ち振る舞い、指示、発問等のあり方を考える有意義な時間であった。個別最適な学びを実現していくためには、学級集団で共通の問題について意見を交わし合う時間が欠かせないと感じた。
- ・授業後の研修の持ち方として、全体で共有しながら、進めていくと授業の全体像を振り返ることができてよいと思いました。

第2回外国語教育小中連携研修会

- 日時 令和7年2月7日（金） 14:00～16:30
- 場所 南砺市役所
- 講師 西部教育事務所 主任指導主事 宮城 渉 先生
- 参加者 小・中・義務教育学校 外国語科担当教員及び英語科教員 13名
- 内容
 - ・学習者用デジタル教科書を使用した授業
 - ・今年度小中連携を意識して取り組んだこと 等

校種を交えたグループで、情報交換を行いました。タブレット端末で、授業での操作等を見せ合いながら、実際の児童生徒の様子について話し合いました。

参加者からは、「いろいろな事例を互いに見合うことで、自分の授業に活かそうアイデアが浮かんだ。」「普段の悩みを具体的に相談し合えてよかった。」「小学校・中学校それぞれの授業の様子がわかり、小中連携を意識して授業を進めることの大切さを改めて感じた。」という感想が聞かれました。



●第3回NYT道場(南砺ヤングティーチャー)

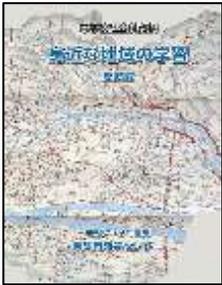
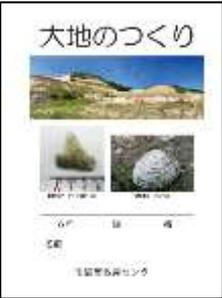
- 日時 令和7年1月31日（金） 17:30～
- 場所 南砺市役所
- 講師 南砺市教育センター 指導主事 塚田 香織 先生
- 内容
 - ・演習「仲間づくりに活かすグループワーク」
 - ・閉講式

<参加者の感想より>

- ・他の校種の方と広く関わったり、明日から役立てられるような実践について教えていただいたりでき、ありがたかったです。
- ・楽しいだけでなく、学んだりつながりが生まれたりする企画でした。
- ・実践的な内容が多く、次年度に活かそうなる事を知ることができた。
- ・若手教員同士のつながりが増えました。自分の引き出しが増えるようなためになる話を聞くことができて良かったです。



●調査研究委員会

事業名	活動内容	成果や課題
社会科資料 (中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 社会科資料「身近な地域の学習－歴史編－」「郷土の地形図」改訂、印刷 (令和7～9年度使用) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7～9年度に使用する資料であることを考慮し、令和7年度から使用する教科書に合わせ、記載事項やページ数等を修正した。 2次元コードを読み取ることで、参考となる書籍やHP、写真資料等を参照できるページ「もっと知りたい」を新たに設けた。 地図を国土地理院発行の最新のものに変更した。
理科資料 (小学校)	<ul style="list-style-type: none"> 理科資料「大地のつくり」改訂、印刷 (令和7～9年使用) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察地点の地形等が変化しているため、掲載する画像を現在のものに変更した。 防災関連の資料を南砺市の最新版のものに変更し、2次元コードでも市の地震防災マップにアクセスできるようにした。また、令和6年1月の能登半島地震の被害を掲載し、防災意識の向上を図った。 教師用は印刷・製本せず、サーバーからデータをダウンロードする方式に変更した。
体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 体力・運動能力調査の結果の分析 各学校の取組等についての情報交換 市全体で取り組む課題の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の体力・運動能力調査のまとめを作成し、課題を把握した。 各校での取組について集約した。
ICT推進	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力の指標に沿った児童生徒のスキル調査の実施 デジタル・シティズンシップ教育に関する研修会の受講 デジタル・シティズンシップ教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> スキル調査の実施により、市内児童生徒の現状を把握した。 各校でデジタル・シティズンシップ教育の実践を行い、内容を集約、共有した。

●令和7年4月 市教育センター研修会のお知らせ

- 4月4日(金) 13:10 南砺市教育講演会 対象:全教職員
講師:大阪教育大学 名誉教授
大阪医科薬科大学LDセンター 顧問 竹田 契一 先生
- 4月11日(金) 15:30 授業力向上研修会 対象:希望者
講師:南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 4月16日(水) 14:30 学校図書館研修会 対象:学校図書館担当教諭・学校司書助手
講師:南砺市立中央図書館 副主幹 松井 環 先生
- 4月23日(水) 15:00 ICT活用研修会 対象:初任者・希望者
講師:南砺市教育センター ITCE 林 秀次 先生

今年度も、市教育センターの諸活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご要望を反映し、実りある活動を進めていくことができるよう努めてまいります。今後ともさらなるご理解とご協力をお願いいたします。